第45期(2018年6月期)決算説明会資料

2018年8月22日

(2017年7月1日→2018年6月30日)



1. 会社概要



【会社概要】



設立(登記) 1974年2月(創業1972年3月)

本 社 所 在 地 東京都台東区駒形二丁目7番5号 前川ビル5階

事 業内容 建設系リサイクル事業/食品系リサイクル事業/白蟻解体工事 森林発電事業

資 本 金 6億 29百万円 (2018年6月末現在)

売 上 高 34億 27百万円 (2018年6月期)

経 常 利 益 1億 40百万円 (2018年6月期)

従 業 員 数 110名 (2018年6月現在)

関係会社(株)一戸フォレストパワー・・・・ バイオマス発電事業

(株)一戸森林資源・・・・・ 発電用燃料チップ製造販売

御所野縄文パワー(株) ・・・・ 電力の小売販売 御所野縄文電力(株) ・・・・ 電力の小売販売

(株)遊楽ファーム ・・・・ 有機農産物の生産販売農作物栽培試験

【事業の沿革】



1972 住宅の害虫防除・白蟻駆除工事からスタート

1974 白蟻の新築工事受注に向け、解体工事を開始

1991 工事の廃棄物処理を目的に廃棄物処理業を開始

2000 事業拡大に向け食品リサイクル事業を開始

2007 CO2の削減、適正処理、高収益 発電事業を開始

2016 森林木材を活用したバイオマス発電事業を開始 森林資源を燃料化~発電~電力の小売

【事業内容】



■ 建設系リサイクル事業

首都圏近郊の廃棄物処理会社、ハウスメーカー並びに工場、倉庫、ショッピングセンター等からの委託を受け、木くず、紙くず、廃プラスチック類の産業廃棄物及び一般廃棄物を焼却、破砕、リサイクル処理を行っております。発電施設では受入れた木くず等のバイオマス(生物資源)を原料とした発電により、温室効果ガスの削減を推進し、自然エネルギーとして付加価値の高い電力販売を行っております。

■ 食品系リサイクル事業

食品関連事業者等からの委託を受け、リサイクルが可能な食品循環資源である産業廃棄物及び一般廃棄物を、発酵分解による堆肥化、発酵による液状飼料へのリサイクル処理を行い、関東圏の養豚農家へ販売しております。再生堆肥の品質向上を目的として、農地での栽培試験及び農作物の生産販売を(株)遊楽ファームにて行っております。

【事業内容】



■ 森林発電事業

森林資源である未利用木材、製材所から発生する製材くず等を購入し、自社で保有する燃料化工場(㈱ー戸森林資源)で、破砕、粒度並びに水分調整を行います。製品化された燃料チップをエネルギー源として、自社で保有する発電施設(㈱ー戸フォレストパワー)で、自然エネルギー電力の発電を行います。発生した電力は自社のPPS(御所野縄文パワー㈱及び御所野縄文電力㈱)を通じて、地元の小中学校、公共施設、事業会社、一般家庭へ電力供給を行う事業であります。

■ 白蟻解体工事(白蟻防除・家屋解体工事)

建築関連事業者等からの依頼により、住宅及びアパート等の解体工事、 白蟻予防工事の見積調査及び施工を主として行っております。あわせて、 リフォーム会社からの依頼により、既存住宅の白蟻防除工事、家屋害虫 の駆除工事等を行っております。

【当社の特徴】



- ・許可品目が多い(民間では少ない一般廃棄物処分業許可)
- •取扱い廃棄物の多様化(建設、食品工場、製造業、飲食等)
- 創業時から社会的に意義のある事業活動
- •最新鋭の処理施設と技術導入 「信頼と安心感」
- •食品リサイクル事業のパイオニア 「農業との連携」
- ・廃棄物処分業としてのバイオマス発電「収益と環境」
- 森林資源でのバイオマス発電・電力小売り「地産地消」



『住まいと環境』を守る

当社では、住宅を木材害虫や衛生害虫から守り、自然界では昆虫類と共存することを理念としました。時代とともに変化し、現在では、里山の保護や廃棄物による環境破壊の防止も追加しております。

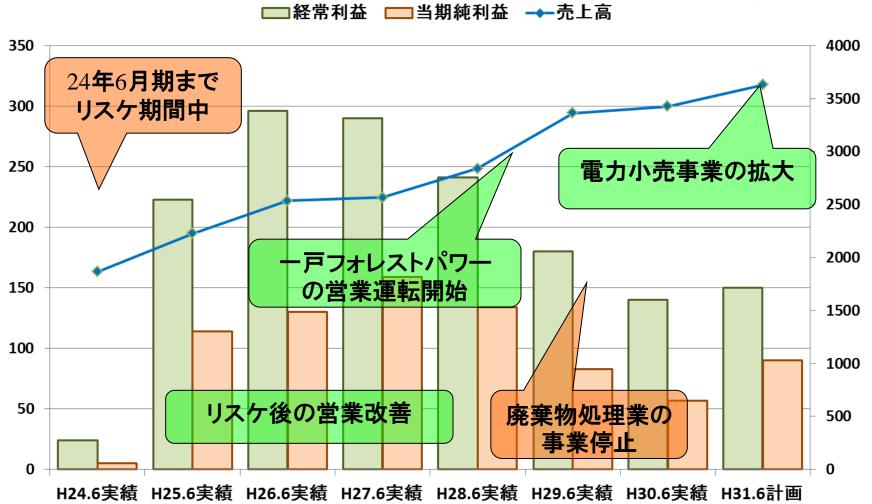
建設系リサイクル事業の経験を生かして食品系及びバイオマスリサイクル事業の拡大

新技術の開発によって、廃棄物を エネルギー資源として活用する事業に注力

【決算ハイライト】



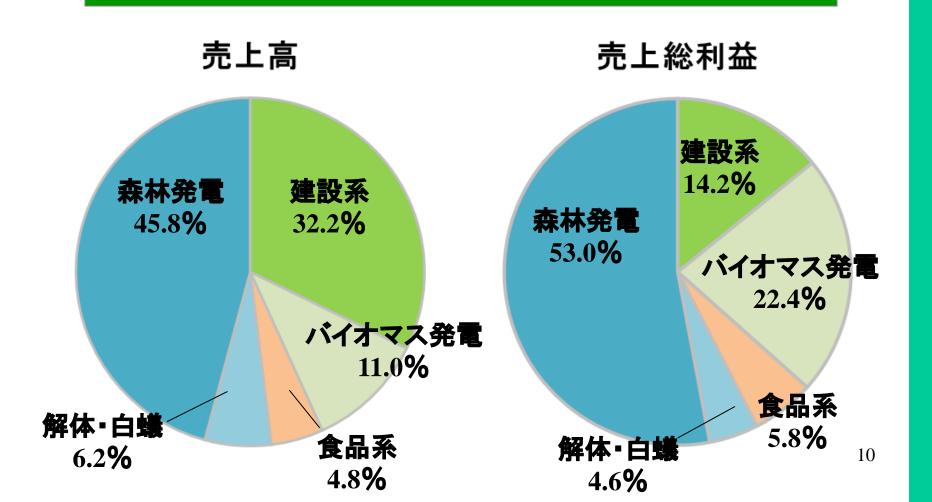
(単位:百万円)



【セグメント別の構成割合】



- 平成30年6月期(2018年6月期)損益実績



2. 第45期(2018年6月期)決算概要



【決算ハイライト】



(単位:百万円)	前期実績	当期予想	当期実績	予想増減	前期増減
売上高	3,363	3,340	3,427	87	64
営業利益	228	150	191	41	-37
経常利益	180	120	140	20	-40
当期純利益	83	50	57	7	-26
EPS (円)	18.81	11.01	12.57	1.56	-6.24

【決算ハイライト】



2017年8月8日発表

(単位:百万円)	前期実績	当期予想	当期実績	予想増減	前期増減
売上高	3,363	3,600	3,427	-173	64
営業利益	228	340	191	-149	-37
経常利益	180	300	140	-160	-40
当期純利益	83	200	57	-143	-26
EPS (円)	18.81	44.04	12.57	-31.47	-6.24

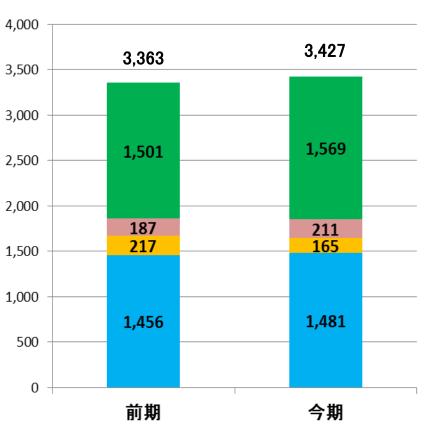
【決算ハイライト分析 前期比】



·売上高 3,427百万円(前期比 1.9%増)

(単位:百万円)





建設系リサイクル事業

廃プラスチック類の構成割合増加 焼却施設 数量減少 単価向上 発電施設 24.3%増 売電数量5.5%増 食品系リサイクル事業 受入数量 減少 液状化飼料の販売数量 増加 白蟻解体工事 施工体制及び営業強化 件数増加 森林発電事業 安定稼働を継続 木材調達も順調 電力小売事業も拡大

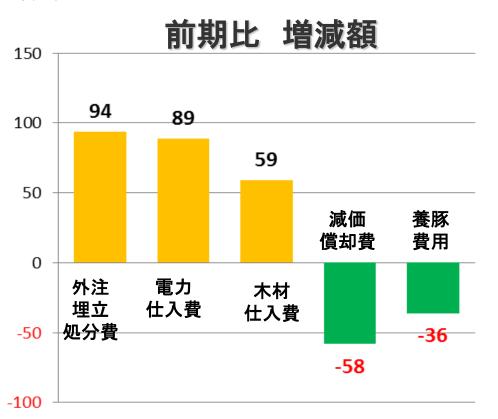
14

【決算ハイライト分析 前期比】



· 売上原価 3,017百万円(前期比 3.9%増)

(単位:百万円)



外注委託・埋立処分費 処理数量の減少 価格の上昇 電力仕入費 契約件数、販売数量の増加 木材仕入費 含水率の上昇 払出し増加 減価償却費 定率償却による減少 養豚費用 鉾田ファームの売却



【建設系リサイクル事業】

(単位:百万円)

売 上 高 売 上 原 価 売上総利益

1,481百万円(前期比

1.7%增)

1,331百万円(前期比

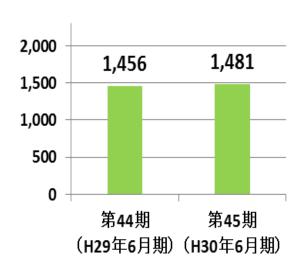
2.7%增)

150百万円

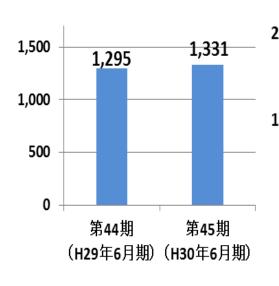
(前期比

6.8%減)

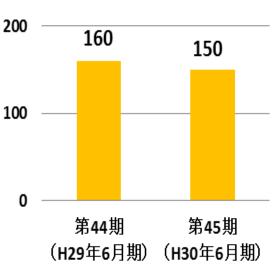
売上高



売上原価



売上総利益





【食品系リサイクル事業】

(単位:百万円)

売 上 高 売 上 原 価 売上総利益

165百万円(前期比

141百万円(前期比

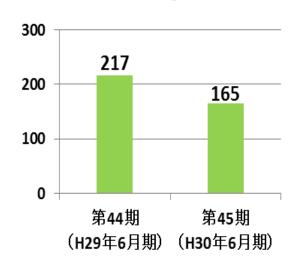
24百万円(前期比

23.7%減)

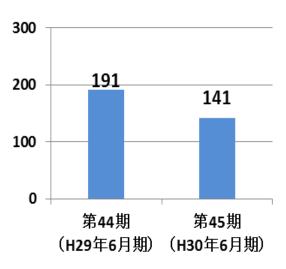
25.9%減)

8.1%減)

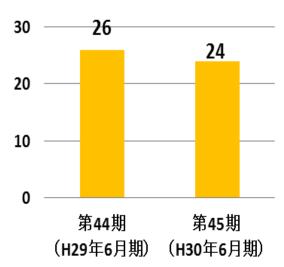
売上高



売上原価



売上総利益





【白蟻解体工事】

(単位:百万円)

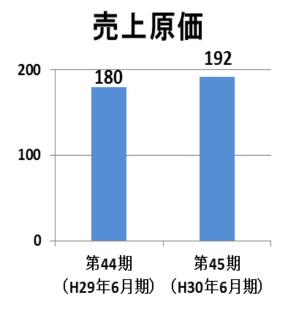
売上高 売上原価 売上総利益 211百万円 (前期比 12.3%增)

192百万円 (前期比 6.6%增)

18百万円 (前期比147.8%增)

売上高





売上総利益20 18 7 10 7 10 第44期 第45期 (H29年6月期) (H30年6月期)



【森林発電事業】

(単位:百万円)

売上高 売上原価 売上総利益 1,569百万円(前期比

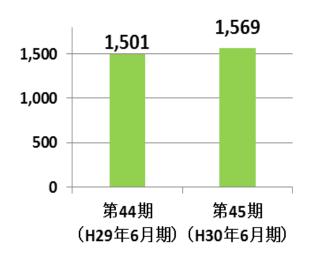
1,352百万円 (前期比

217百万円 (前期比 17.4%減)

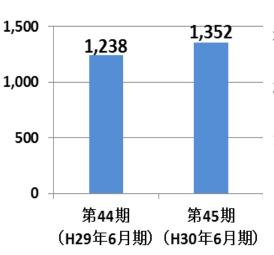
4.5%增)

(前期比 9.2%增)

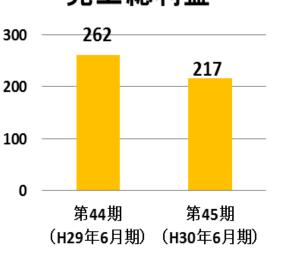
売上高



売上原価



売上総利益



【連結損益計算書の概要】



	前期	当期		
(単位:千円)	2017年6月期	2018年6月期	前期増減額	前期比%
売上高	3,363,470	3,427,991	64,521	101.9
売上原価	2,904,177	3,017,990	113,813	103.9
売上総利益	459,293	410,000	-49,293	89.3
販売費一般管理費	230,503	218,378	-12,125	94.7
営業利益	228,789	191,622	-37,167	83.8
営業外収益	12,723	4,199	-8,524	33.0
営業外費用	60,981	54,856	-6,125	90.0
経常利益	180,531	140,965	-39,566	78.1
特別利益	92	3,748	3,656	_
特別損失	31,383	60,468	29,085	192.7
税引前当期純利益	149,240	84,245	-64,995	56.4
法人税等	337	27,166	26,829	
当期純利益	148,902	57,079	-91,823	38.3
非支配株主に帰属する 当期純利益	65,506	_	-65,506	_
親会社株主に帰属する 当期純利益	83,395	57,079	-26,316	68.4

【連結貸借対照表の概要】



	前期	当期		
(単位:千円)	2017年6月期	2018年6月期	前期増減額	前期比%
流動資産	1,656,263	1,725,260	68,997	104.2
固定資産	4,749,400	4,400,007	-349,393	92.6
資産 合計	6,405,663	6,125,268	-280,395	95.6
流動負債	1,176,474	1,289,720	113,246	109.6
固定負債	2,899,231	2,715,423	-183,808	93.7
負債 合計	4,075,706	4,005,143	-70,563	98.3
純資産	2,329,957	2,120,124	-209,833	91.0
(自己資本比率)	33.4%	34.6%	1.2%	103.6
負債・資本 合計	6,405,663	6,125,268	-280,395	95.6

【キャッシュフローの概要】



	前期	当期 		
(単位:千円)	2017年6月期	2018年6月期	前期増減額	前期比%
営業活動によるCF	890,616	576,002	-314,614	64.7
投資活動によるCF	-97,349	-158,219	-60,870	162.5
財務活動によるCF	-382,089	-376,263	5,826	98.5
期末残高	736,048	777,567	41,519	105.6
フリーCF	793,267	417,783	-375,484	52.7

【キャッシュフローの概要】



① 営業CFの概況

(単位:千円)	2017年6月期	2018年6月期	前期増減額	前期比%
税金等調整前当期純利益	149,240	84,245	-64,995	56.4
減価償却費	523,387	469,060	-54,327	89.6
売上債権の増減	56,668	-70,708	-127,376	_
仕入債務の増減	-19,697	30,607	50,304	_
支払利息	-36,939	-33,257	3,682	90.0
たな卸資産の増減額	-1,652	26,158	27,810	_
その他	219,609	69,897	-149,712	31.8
営業CF∙計	890,616	576,002	-314,614	64.7

【キャッシュフローの概要】



② 財務CFの概況

(単位:千円)	2017年6月期	2018年6月期	前期増減額	前期比%
長期借入れによる収入	450,000	630,000	180,000	140.0%
長期借入金の返済による支出	-709,682	-670,286	39,396	94.4%
リース債務の返済による支出	-61,987	-68,871	-6,884	111.1%
株式の発行による収入	251,950	_	-251,950	_
配当金の支払額	-47,363	-54,684	-7,321	115.5%
子会社株式の取得による支出	-262,845	-212,421	50,424	80.8%
その他	-2,160	_	2,160	_
財務CF•計	-382,089	-376,263	5,826	98.5%

3. 第46期(2019年6月期)業績見通し



【第46期(2019年6月期)業績見通し】



	前期実績	当期予想		
(単位:百万円)	2018年6月期	2019年6月期	前期増減額	前期比%
売上高	3,427	3,630	203	105.9
売上原価	3,017	3,210	193	106.4
売上総利益	410	420	10	102.4
販売管理費	218	220	2	100.9
営業利益	191	200	9	104.4
営業外収益	4	7	3	175.0
営業外費用	54	57	3	105.6
経常利益	140	150	10	106.4
当期純利益	57	90	33	157.7
EPS (円)	12.57	19.82	7.25	157.7

【第46期(2019年6月期)業績見通し】

新田宝建

前田宝结



① セグメント別 売上高の計画概況

		三		
(単位:百万円)	2018年6月期	2019年6月期	増減額	前期比%
建設系リサイクル事業	1,481	1,541	60	104.1
森林発電事業	1,569	1,715	146	109.3
食品系リサイクル事業	165	174	9	105.5
白蟻解体工事	211	200	-11	94.8
売 上 高	3,427	3,630	203	105.9

不相計型

业期計画

② セグメント別 売上総利益の計画概況

	1170大快	3 物 同 画		
(単位:百万円)	2018年6月期	2019年6月期	増減額	前期比%
建設系リサイクル事業	150	203	53	135.3
森林発電事業	217	187	-30	86.2
食品系リサイクル事業	24	14	-10	58.3
白蟻解体工事	18	16	-2	88.9
売 上 総 利 益	410	420	10	102.4

4. 今期 足元の取り組み



【今後の取り組み 事業環境】



■廃棄物・リサイクルを取り巻く事業環境

建設廃棄物・非建設廃棄物ともに旺盛な需要が継続 首都圏における再開発+東京オリンピックに向けた建設需要 中国の廃プラスチック類等の輸入規制により処分価格の高騰 高カロリー廃棄物に対して、処分業者の受入規制強化

森林発電事業を取り巻く事業環境 自然エネルギーに対する電力需要、新規雇用の創出等 堅調に推移する見通し

【今後の取り組み】



法令順守体制の徹底

全ての事業活動において、法令順守の徹底を目的とした組織運営関係機関との連携により、一層の体制強化に努めてまいります

■廃棄物処分業の収益改善

中国の輸入規制により廃プラスチック類の構成比が向上 焼却廃棄物のカロリーが上昇 ⇒ 処理可能数量が低減 外注委託数量の増加・外注単価の上昇 受入廃棄物の性状に合わせた単価設定 稼働率の向上

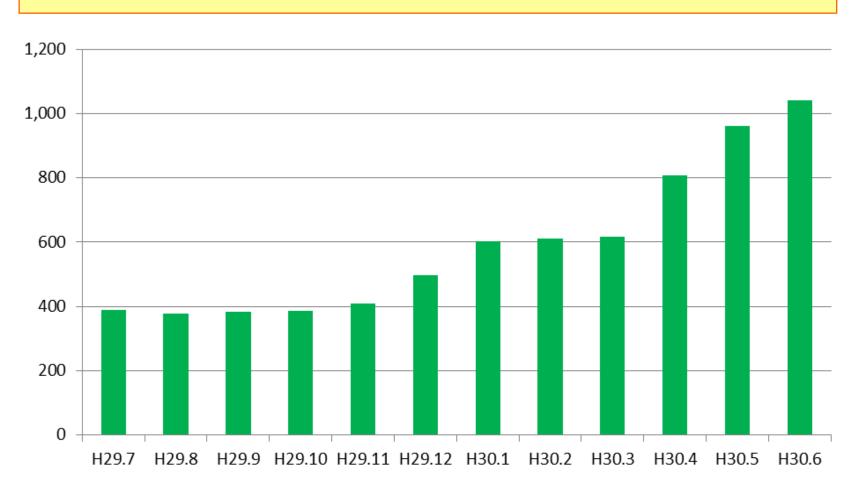
•森林発電事業

地産地消型の電力小売事業の拡大 木材の乾燥強化

【電力小売の拡大】



電力販売数量の推移 単位 MWh



【株主還元】



当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として認識しておりますが、今後の成長に向けた設備投資を機動的に行い、事業拡大および経営基盤の安定に向けた設備投資等の資金需要を勘案し、長期的な事業展望に備えて内部留保を優先する方針であります。

2019年6月期の年間配当につきましては、普通配当1株当たり12円00銭を予定しております。

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
	(前々期実績)	(前期実績)	(当期予想)
基準日	中間 2016年12月31日 期末 2017年 6月30日	中間 2017年12月31日 期末 2018年 6月30日	中間 2018年12月31日 期末 2019年 6月30日
1株当たり配当金	中間 6円00銭 期末 6円00銭 年間合計 12円00銭	中間 6円00銭 期末 6円00銭 年間合計 12円00銭	中間 6円00銭 期末 6円00銭 年間合計 12円00銭
配当金総額	中間 27,245千円 期末 27,245千円 年間合計 54,490千円	中間 27,245千円 期末 27,245千円 年間合計 54,490千円	中間 27,245千円 期末 27,245千円 年間合計 54,490千円
配当性向	年間 63.8%	年間 95.5%	年間 60.5%
効力発生日	中間 2017年3月13日 期末 2017年9月20日	中間 2018年3月12日 期末 2018年9月26日	未定

【資料取扱上の注意】



本資料に記載されております当社の今後の業績に関する見通しおよび事業環境につきましては、現時点で入手可能な情報を基に当社が独自に予測したものであります。

そのため、当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因により、当社の業績に影響を与え、本資料に記載した 見通しを修正する可能性がありますので、見通しの達成を保証するものではありません。

> 【本資料・ | Rに関するお問い合わせ先】 株式会社フジョー

管理部 I R担当 佐藤 陵枝

Tel: 03-3841-5431 Fax: 03-3841-5371

mail: ir@fujikoh-net.co.jp